

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 4年 5月 25日
住 所 さいたま市北区植竹町1-561-4
県内企業等の名称 さくらやさいたま大宮店
代表者役職氏名 代表 小島 伸哉

さくらやさいたま大宮店

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

学生服や体操着、学用品等の学校関連の商材のリユースを通して家計の負担を軽減しつつ、ゴミや廃棄によって排出されるCO2を削減に寄与します。また一部収益を「子供の未来応援国民運動基金」に寄付することで、子供の貧困対策にも貢献していきます。経営理念である「人を笑顔に」をモットーに地域に根ざし、皆様に喜ばれる店舗づくりを目指しSDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	店内の照明を蛍光灯からLEDに切り替えることで電力使用量を削減する。 現状値(2022年):①LEDの割合 0% ②電力使用量 3200kwh	<2030年に向けた指標> ① 100% ② 640kwh <取組開始3年後に向けた指標> ① 50% ② 2240kwh
社会	①リユースランドセルの寄付活動を行っています。現状値(2022年):2世帯 ②「子供の未来応援国民運動」に参画しており、回収した学生服の査定額の一部を基金へ寄付を行い、子供の貧困対策に積極的に取り組んでいます。現状値(2022年):22,720円	<2030年に向けた指標> ①120世帯 ② 96,000円 <取組開始3年後に向けた指標> ①30世帯 ② 60,000円
経済	3年足らずで廃棄されてしまっている高品質な学生服を当たり前のようにリユースしていく、環境にも家計にも優しい社会を形成すべく啓蒙活動を積極的に行っていきます。 現状値(2022年):800着 0.6t	<2030年に向けた指標> 回収目標20,000着 約16t <取組開始3年後に向けた指標> 回収目標7,000着 約5.6t

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。